

# 海のある里山 知多半島生態系ネットワーク形成 協働ロードマップ

※ 生態系ネットワークの形成とは、地域の生態系を健全に保全するため、生きものの生息・生育空間を適切に配置し、つながりを確保すること。



現状と課題・問題意識

将来の姿・ビジョン

課題解決策の方向性

## 地域の自然

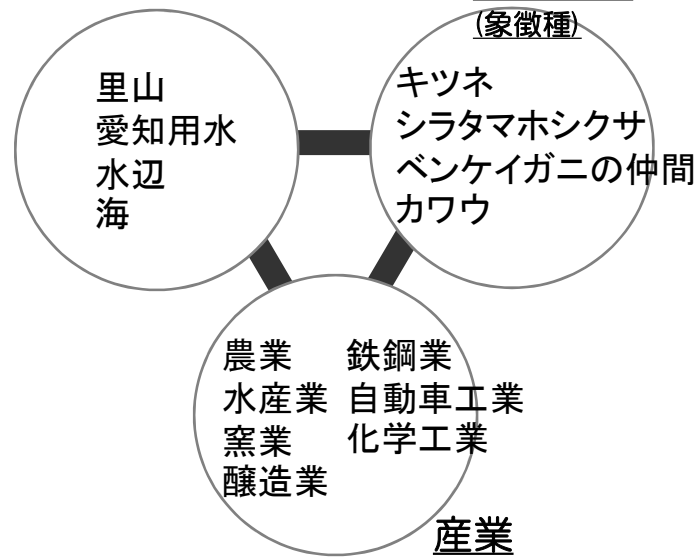
## 目標

## 取組の方向

景観・風土・暮らし

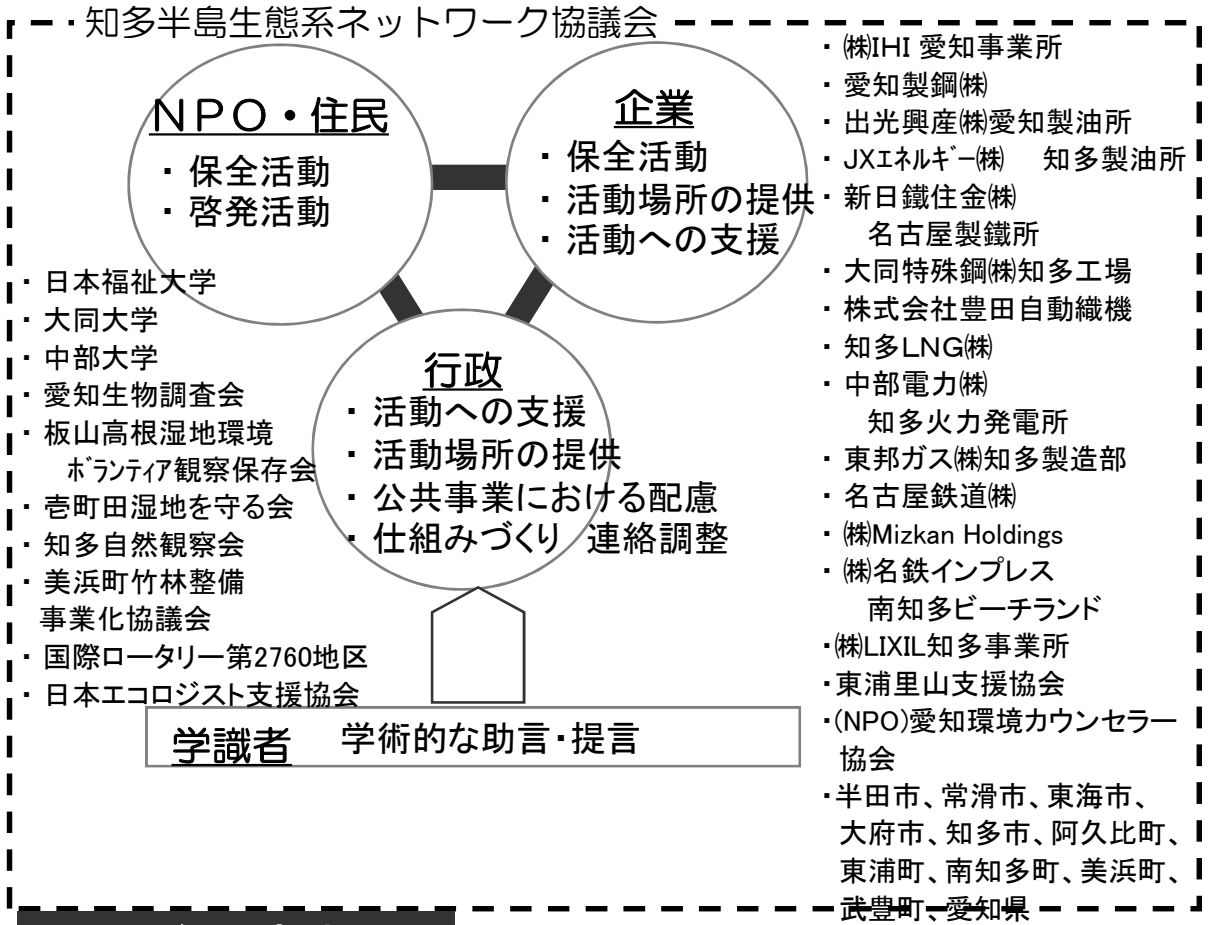
生きもの

(象徴種)



「ごんぎつねと住める  
知多半島を創ろう」

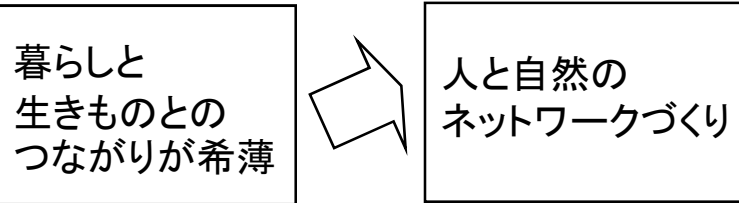
### 構成と役割分担



## 課題と対策

(課題)

(対策)



- 開発による生態系の縮小と孤立
- 外来種の侵入
- 害虫による里山林の枯死
- 里山の放置
- ため池の多面的機能の喪失
- 地域住民の自然に対する関心の希薄化

- 身近な自然の保全と再生
- 原風景再生への関心・参加(知多半島に住む・働く・学ぶ人々)
- 里山資源の産業への活用
- 地域の目標づくりと共有化

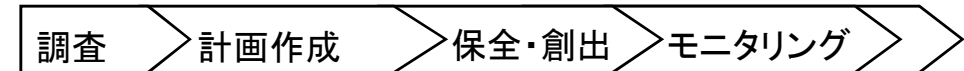


## 取組の方法

知多半島生態系ネットワーク協議会の設置(平成23年1月設置)

役割: 計画作成、交流・連携、成果検証

○ 取組の基本的なフロー及び内容



- 里山: 雑木林整備、竹林の伐採・炭化
- ため池: 池干し、外来種の除去、ビオトープづくり
- 湿地: 水源・水質の管理、湿地植生の管理
- 汽水域: 干潟・魚道の確保、下流における護岸の近自然化